

みんなで進める話し合い



年 組 名前 ()

話し合いて好き？ 嫌い？

時間わりに『学活』というのがあるでしょ。

学級活動という時間のことだよ。

『学活』では、話し合いをしたり、係の仕事や集会をやったりするよね。

きみは、話し合いが好き？ それとも、嫌い？

きらいな人は、どうしてかな。

みんなの前で、意見を言うのがはずかしいから？

それとも、話し合いがどう進んでいるか、よくわからないから？

でも、『学活』の話し合いでは、

司会しかいをする人、意見を言う人、黒板に意見を書く人……、みんな自分たち。

自分たちが進めていく時間だよ。

そして、「クラスみんなが楽しめること」や「クラスみんなにとって大切なこと」を、

話し合って、決めて、実行していく、楽しい時間さ。

むずかしいと思ったり、おもしろくないと考えたりしないで、まず、やってみよう。

そして、これを参考さんこうにして、もっと楽しくしてほしいな。



どんなことを話し合えばいいの？

1 『学活』で話し合う問題ってどんなこと？

みんなの話から

- ・ 「みんなでこんなことしたいな」ということ
- ・ みんなが困こまっていること
- ・ はっきりしていないので、決めておきたいこと

係から

係の計画やみんなへのおねがいなど



2 どこへ出したらいいの？

議題ぎだいポストに意見を出す。(用紙とポストを用意しておこう)

ポストに入れてくれた人に、それがどうなったかをかなら必ず知らせよう。

先生に言う。(実は、かなら のことでこままっているんだ)

朝の会や帰りの会で発表する。

3 出てきた問題をどうしたらいいの？

出てきた問題の中から議題ぎだいを決めよう。その時は、つぎの3つのことを考えるといいよ。

クラスかんけいのみんなにかんけいがあるか。

話し合えば、解決かいけつできそうか。

急いで話し合った方がよさそうか。



でも、次のような問題のときは、かなら必ず先生と相談しておこう。

お金を集めること

自分たちの教室以外いがいの場所を使うこと

時間割じかんわりにかんけいすること

だれかがおそきずつく恐れがあること

家に帰ってからのこと

あぶないこと



一番大切なことは、今、クラスの中でどんな問題があるか、
しっかりと見つめる目をもつことだよ。

計画委員会をつくろう！

計画委員会 = ^{しかい}司会グループ + ^{ていあん}提案者 + 先生

計画委員会は、話し合いをどんどん引っぱっていく仕事をするんだ。車で言えば、エンジンの役目だね。いつも同じ人たちがやるんじゃないくて、クラスでルールを決めて、交たいでやっていくといいよ。

仕事の分たん（5人の場合）
┌ ^{しかい}司会さん - 1人 ^{ふくしかい}副司会さん - 1人
└ 書記さん - 3人（ノート1人，黒板2人）

話し合いまでに，計画委員会がやっておくこと

話し合いの計画を立てて，みんなに知らせる。
今度の話し合いで，一番大事なことは何か。
話し合いの^{じゅん}順じょと，時間のわりふり。

前もって，意見を考えてきて
もらうと，話し合いが活発になるよ。

話し合いの^{じゅん}びをする。

^{ていあん}提案者...^{ていあん}提案のしかたを考え，メモしておく。

（どんなことを，何のために，どう話し合ってもらいたいかな）
^{ひつよう}必要ならば，図・表・物などを^{じゅん}びする。

^{しかい}司会グループ...計画をもとに，話し合いの進め方を考える。

- ・ 一番時間をとって考えるところ
- ・ 話し合いが止まりそうなところ
- ・ ^{しつもん}質問がたくさん出そうなところ
- ・ いろいろな意見が出て，まとまらなくなりそうなところ

予想して，どうしたらいいか考えておく。



一週間の流れは？

これまでのことを，一週間の曜日に当てはめてみました。
 こんな予定表を作ったら，いつでもみんなが見られるように，教室にはっておくといいね。

(これは，木曜日が『学活』のクラスの例です。)



	計画委員会からクラスみんなへ(朝の会・帰りの会)	計画委員会(休み時間・ほうか後)
月	問題集め(ポスト, 朝・帰りの会, 先生へ)	議題えらび
火	議題の発表	話し合いの計画
水	話し合いの計画の発表	話し合いのじゅんぴ
木	『学活 - 話し合い』	反省
金	話し合ったことを実行する	

議題えらび～発表

- ・ ポストに入っているカード
 - ・ 生活グループや係で話し合ったこと
 - ・ 先生におねがいしたいこと
- 今週，話し合うこと
 を決め，みんなに
 発表する。



話し合いの計画～発表

- ・ 司会グループのやくわりを決める。(司会さん，副司会さん，書記さん)
- ・ 話し合うことをはっきりさせ，話し合いの順じょを考える。
- ・ 議題と話し合うことを発表し，みんなに意見を考えてきてもらう。

話し合いのじゅんぴ



- ・ 議題や話し合いの柱をカードにしておく。
- ・ 「進め方のリハーサル」をしておくのもよい。
- ・ 時間があれば提案の説明のじゅんぴをする。または，おねがいます。

話し合いのやくわり

しかい
司会さん

話し合いが議題ぎだいからそれないように、

「今から、……について話し合います。」

「……の順じゆんじよで話し合っていきます。」

「話し合いがそれてきてしまったようです。……について意見を言ってください。」

何が問題か、どこまで進んだかを、いつもはっきりさせて、

「みんなの意見は、……ということでもいいですね。」

「……と……の二つの意見にわかれています。」

「……は決まったので、……について意見を出してください。」

いつも同じ人ばかりをあてないで、

いろんな人から意見を出してもらうように心がけよう。

「まだ意見を言っていない人の考えを教えてください。」

話し合いが止まってしまったら、

「周りの人まわと 分間話し合ってみてください。」



決めるときには、

「賛成意見さんせいが多いので、……でもいいですか。」

「反対意見が多いので、……でもいいですか。」

いつも多数決にしまわなくて、話し合いながら、意見をまとめていくことが大切です。

「どうしても決まりません。多数決で決めてもいいですか。」

決める内容によっては、

{	・ どちらかに手をあげる	}	など、手のあげ方も
	・ 何回手をあげてもよい		

考えるといいね。

話し合いの途中とちゆうで時間がきてしまったら、

「時間がきてしまいました。どうしたらいいですか。」

{	・ 次の学活でもう一度話し合う	}	などが考えられるね。
	・ 朝の会で話し合う		
	・ 計画委員に決めてもらう		
	・ ここまで話し合ったのだから、多数決で決める		

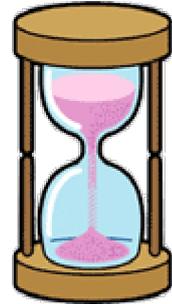
副司会さん

時計を見ながら、話し合いの進みぐあいに気をつける。

司会さんに「もうそろそろ次の話し合いの柱に入ったほうがいいよ」などと言う。

名簿や座席表を使って、発言した人を記録する。

はじめて手をあげた人がいたら、司会さんに教えよう。
たくさん手があがって、司会さんが、だれを当てるかまよっているときは、
まだあまり発言していない人を教えてあげよう。



黒板書記さん

話し合いで「問題になっていること」「おもな意見」を黒板にわかりやすく記録する。

出された考えをすべて書く必要はありません。磁石を使って賛成意見と反対意見を区別したり、「賛成意見に、反対意見には」というように記録したりするのも一つです。

色チョークをじょうずに使って、見出しを工夫しよう。

磁石などを使って、「今、どこを話し合っているのか」がわかるようにする。

ノート書記さん

決まったことをノートに記録する。

最後にそれをみんなに発表する。



さあ、話し合いをはじめよう！

さあ、話し合いのじゅんびは全部できた。やくわりもわかった。さあ、話し合いを始めよう。でも、その前に、話し合いのやくそくはできているかな？ もし、できていなければ、クラスでつくっておこう。

< 約束 >

やくそく
ともだち 友達の意見は、さいご 最後まで聞くこと

- 「ひやかし」・「やじ」はぜったいにやめよう。

自分の意見を進んで発表すること

- 近くの人とのひそひそ話や、手をあげないで発言することはぜったいにいけない。

意見の聞き方のルール

自分の考えと、くらべながら聞く。

- ・ 「ぼくの考えと同じだ。」
- ・ 「わたしの考えとはちがう。どうして……なんだろう。」
- ・ 「……までは同じだけれど、そのあとがちがう。」
- ・ 「わたしの考えとにているけれど、理由がちがう。」

意見の言い方のルール

一番大切なことは、

かなら 必ず手をあげて、指名されてから、はっきりと、最後までさいご言うことです。

A しつもん 質問するときは

「～のところを もう一度言ってください。」

- ・ 聞こえなかったので
- ・ わかりやすく
- ・ 理由をつけて

B 意見を言うときは

まず、賛成・反対を、はっきりさせてから、理由もつけて言うことが大切です

- ・ 賛成 「……という意見に賛成です。ぼくも同じように……と思うからです。」
- ・ つけたし 「 さんにつけたしで、……と思います。」
「 さんの言ったことに関係して、……ということもあります。」
- ・ にてるけど 「 さんと同じ考えですが、…（理由・方法）…がちがいます。」
- ・ 反対 「 さんの意見に反対です。……だからです。」
- ・ まとめ 「みんなの意見をまとめると、……ということになると思います。」
- ・ ずれたり、止まったりしたら
「……という考えもあると思います。」
「司会さん、……にしたらどうですか。」
「両方の意見のいいところを合わせて、…でどうですか。」

さて、これがはじまりなのだ

話し合いが終わったから、これでおしまいではない。

『学活』で、みんなの問題について、どうやって解決していこうかと話し合ったのだから、決まったことにしたがって、**実際の行動にあらわすこと、これが大切**なんだ。

「学級オリンピック大会をしよう」という議題で話し合って、ルールやチーム、係を決めたのに、オリンピック大会をやらなかったら……。

「中津川の思い出を学級文集にしよう」という議題で話し合って、書く内容やしめきり日を決めたのに、みんながそれを守らなかったら……。

『学活』の時間は、話し合いじゃなくて、ただのおしゃべりになってしまう。

たとえ話し合いの場面では、反対していたとしても、いざ決まったら、**みんなで力を合わせて実行しよう。**

さあ、これがはじまりなのだ。
みんなで、決めたことをやろうよ。

